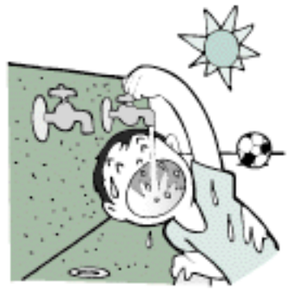
市民の声を市政に

学校教育における児童生徒の暑さ対策について

松本光政

問 昨年旧深谷市内の小中学校では夏の暑さ対策として7月11日から午後の授業をカットして下校させた。児童生徒と保護者教師の反応は、また18年度の対策は。

答 学校の暑さ対策は、従前から子ども議会をとおし子ども議員から要望が数多く寄せられました。教育委員会として真摯に受け止め、教育課程編成上から何ができるか検討を重ね試行に至りました。給食後、各学校の実情に応じて、小学校はプール指導や図書室の開放、中学校では、部活動等を実施する学校もありました。この試行による児童生徒、保護者等の反応ですが、「午前中の学習は集中できてよかった」、「授業時間が確保されよい対策であった」という意見や、「夏休みが短くなってしまう」という意見などが寄せられました。平成18年度は各学校の行事等の実態に合わせた学校主体の時数確保に努めます。また下校は直射日光を避ける等の工夫や部活動は活動時間や活動時間帯を工夫するよう各校に指導します。2学期制をとる学校についても教育課程に応じた可能な範囲での試行といたします。また、郡市の大会等についても中学校体育連盟の主催で開催されており、暑さについても配慮するように要望していきます。また、よしずを張ったり、打ち水や緑を植えて涼しくなる方法等を試行し、梅雨時の暑い中で勉強ができるよう努めていきます。



広域的市内循環バス運行の早期開始は市民の声！

加藤温子

問 市内循環バス・幼稚園送迎バスの有無は、地域格差であり不公平である。高齢者の通院や、史跡・祭り巡りの足としても要望が強いので、早期運行開始と現行のコース再編を検討すべきではないか。

答 岡部・花園を含む広域的運行は19年中に開始予定ですが、実験的運行期間中に利用の動向調査を実施し、基準に達しなければ廃止もあります。なお、くるリン号は22年3月まで運行し、コースの再編は市全体で考えていきます。

通学区再編と学校選択制をいかに捉えているか

問 通学区の再編はどうか。

答 18年4月1日以降審議会を開催し、多くの市民の意見を参考に、2年以内に再編し公開をしてまいります。

問 学校選択制は。

答 少々時間をいただきたいと考えます。現在は、教育委員会が認めた場合に、指定学校変更で通学区以外の学校も選択できます。

公共施設の有効活用を！

問 ①岡部水質管理センターの建物と空き地は、世代間交流事業の拠点やミニギャラリーとしてはどうか？道の駅との相乗効果も考えられる。②旧3町役場3階。

答 ①につきましては、薬品や機械の安全確保のために許可できませんが、空き地はグラウンドゴルフ練習場として一部の活用を認めます。②につきましては、有効活用ができるように市民・職員とで検討いたします。

くるリン号

市長の選挙公約について

佐藤美智子

問 新井市長の選挙公約として駅前保育所の設置と障害者就労支援センターの設置をすると述べていたが、具体的にどのように設置をしていくのか聞きたい。

答 「駅前保育所の設置」については、送迎保育ステーションとして保育園利用者で早朝や夜間の時間外保育を必要とするかたのために、保育所開園前、閉園後お子様を安全にお預りする事業で保護者の仕事と子育ての両立の支援をしたいと考えております。「障害者就労支援センター」については、調査研究し平成18年度に策定する障害福祉計画に位置づけてまいります。

朝食を欠食している児童が増加している現状は？

問 食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し、子どもの食生活の乱れが指摘されている。特に子どもの健康と心の豊かさを育むために食育は重要だと思うが、市の対応を聞きたい。

答 学校では、児童生徒が栄養バランスのとれた食生活を送れるよう食に関する指導をしています。さらに学校給食を食育の「生きた教材」とし、地場産物の活用や行事食、郷土料理など提供し、保護者との連携を図り、普及、定着を推進してまいります。

問 各市立幼稚園にも自校方式である学校給食を提供する考えはないか。

答 今後検討してまいります。

問 平成17年4月から栄養教諭制度がスタートしたが、深谷市はいつから配置するのか。

答 県へ要望してまいります。

一般質問

県内が12の市に再編されるのはいつか？

武井敏男

問 平成11年3月に3232あった市町村が、18年3月末には1821になる見込みである。埼玉県内も平成13年2月に92あった市町村が、18年2月には71となった。しかし平成の大合併はこれで終わったわけではない。政府・総務省また多くの国民も平成の大合併の第2段階があることを予測している。合併特例法の期限は、平成22年3月末日である。「県市町村合併推進審議会」は埼玉県内を12の市に再編する基本構想の素案を発表した。この合併再編の枠組みと時期並びに再編への条件整備は、何が必要であるか。

答 新深谷市誕生早々であり、まずは新市建設計画に沿って、1市3町が合併してよかったと言えるような新深谷市のまちづくりに全力を挙げたい。第2ステージの再編はその後になると考えています。

幼・保・小中学校等教育関係現場の防犯対策は万全か？

問 小中学校や子どもに関連した凶悪な事件や事故が、全国各地で多発している。保育所・幼稚園・小中学校・学童保育室等教育関係現場内外の防犯対策は万全か。また通学路のスクールゾーン等の道路標示・標識の設置や危険箇所の再点検とその改善状況は万全であるのか。

答 地域・ボランティア・警察等との連携を密に対応。危険箇所の総点検を実施。道路標示・標識・カーブミラー・信号機その他緊急性を要する場所から、積極的に対応していきたいと考えております。

青淵マラソン開催について

加藤利江

問 平成16年9月議会で私が提唱した青淵マラソンについて、「合併を目途に考える」と答弁をいただいた。その後の経過を教えてほしい。

答 マラソン大会については、1市3町合併に際して行われた事務事業調整において、「合併する年度の翌年度に再編する」との方針が決定しております。今後は、従来実施していた花園元旦マラソン・岡部健康マラソン・深谷市民マラソンの3大会を一つに再編して、平成19年2月頃の実施を目指して、実行委員会の立ち上げやコースの選定等の準備をしてまいります。

笑顔は市民の皆様とともに

問 縁結び係を置く、今後、私が深谷結婚応援団を立ち上げる。それとタイアップする行政の窓口が欲しい。

答 結婚は基本的には公が関与するべきでないプライベートな事柄でありますから、現時点では配置する考えはありません。

問 結婚祝い金を贈る。婚姻届提出時に、いくらでもよいので市で祝い金を贈るべきではないか。記念品でもよい。

答 現時点では考えておりません。

子育て支援センターについて

問 上柴地区に子育て支援センターを創設する考えはないか。

答 上柴地区には未設置ですが、今後、同地区の民間保育園に支援センターを設置していただけるよう、協力依頼をしていきます。